

BeoLab 3500

ユーザー ガイド



警告: 火災や感電を避けるため、この製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類をこの製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

BeoLab 3500 の概要, 4

この章では、メインシステムのオーディオ/ビデオ音源の使用方法および別の部屋に置いた BeoLab 3500 で音源を聴く方法について説明しています。

操作パネル, 6

この章では、タイマー再生 (Timer Play) 機能の使用方法およびメインシステムの音源を聴く方法について説明しています。

Beo4 リモコンの使用, 8

この章では、Beo4 リモコンの使用方法 – メインシステムの音源をリンクスピーカーで聴く、サウンド設定、目覚ましタイマー (Wake-up Timer) のセットなど – について説明しています。

ディスプレイ表示, 14

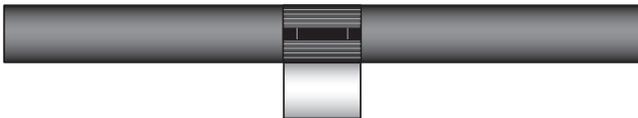
この章では、ディスプレイ表示およびディスプレイの設定方法について説明しています。BeoLab 3500 のディスプレイ表示の概要についても説明しています。

BeoLab 3500 のセットアップ方法, 16

BeoLab 3500 を使用できる状態にするための、セットアップおよび接続方法について説明しています。また、お手入れの方法についても説明しています。

BeoLab 3500 の概要

BeoLab 3500 スピーカーを、Bang & Olufsen システムに接続して、サウンドを聴くことができます。また、オーディオやビデオシステムの音源を、BeoLink システムを通じて、別の部屋に置いた BeoLab 3500 で聴くこともできます。



BeoLab 3500 は、操作パネルの他に、Beo4 リモコンでも操作できます。Beo4 リモコンは、リンクシステムのメリットを最大限に活かします。

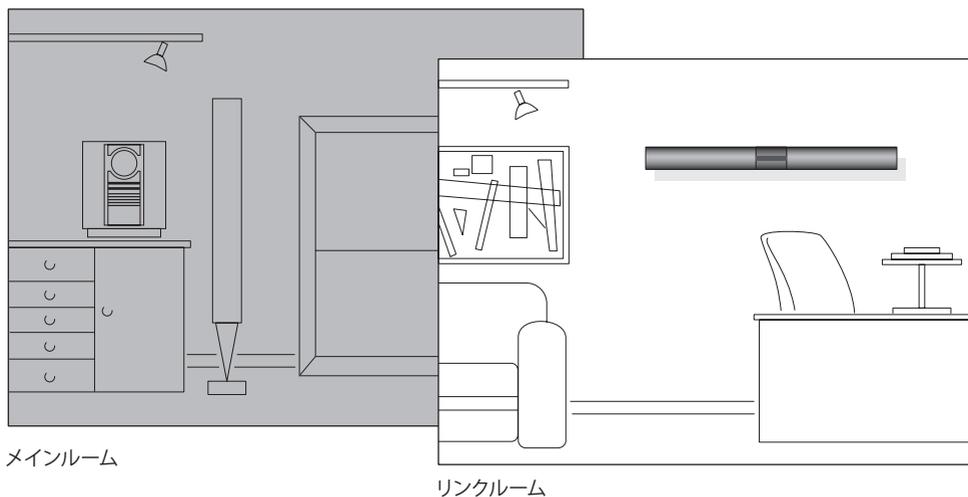
Beo4 リモコンは、メインルームに置いたシステムの再生機能を操作できる他に、BeoLab 3500 の目覚ましタイマーをセットすることもできます。

操作パネル ...

- メインシステムのラジオをオンに切替えたり、現在再生中の音源を聴くことができます。
- メインシステムにセットされたタイマー再生を BeoLab 3500 で聴くことができます。タイマー再生は、再生する音源と時間をメインシステムにセットする機能です。

Beo4 リモコンによる操作 ...

- メインシステムの音源をオンに切替えて、BeoLab 3500 で聴くことができます。
- BeoLab 3500 で聴く音源の通常の再生機能をすべて操作できます。
- BeoLab 3500 のサウンド設定を変更できます。
- BeoLab 3500 の目覚ましタイマーをセットできます。



メインルーム

リンクルーム

本書では、オーディオ/ビデオシステム（メインシステム）を置く部屋を**メインルーム**と呼んでいます。

BeoLab 3500 を置く、別の部屋を**リンクルーム**と呼んでいます。**リンクルーム**からメインシステムの音源を操作して聴くことができます。

BeoLink システムには、2つのタイプがあります：

- ケーブル接続 Master Link (ML) システム。
- BeoLink Wireless 1 ワイヤレスシステム。

BeoLab 3500 は、どちらのシステムにも対応しています。

セットアップの説明については、本書の「BeoLab 3500 のセットアップ」（16-22 ページ）を参照してください。

注意：BeoLab 3500 には、Power Link ソケットが付いていますが、オーディオ/ビデオシステムの通常の Power Link として使用できません！

BeoLab 3500 の操作パネルから、メインルームのオーディオ/ビデオにセットしたタイマー再生のオンオフを切替えることができます。

メインシステムで再生中の音源を聴くこともできます。

タイマー再生機能が付いていない Bang & Olufsen システムもありますのでご注意ください。詳細については、メインシステムのユーザーガイドをご覧ください。



BeoLab 3500 のディスプレイと操作パネル。タイマー再生機能付きの BeoLab 3500 は、ディスプレイパネル*の左側にある TIMER キーの赤色ライトが点灯します。

サウンドを聴く、ミュートする

メインシステムで再生中の音源を聴くには、MUTE • キーを押します。

BeoLab 3500 をオンに切替えると、BeoLab 3500 でのみ音源を聴くことができます。メインシステムのスピーカーは起動しません。

- 音源が再生されていないときに MUTE • を押すと、メインシステムのラジオがオンに切替わります。
- MUTE • をもう一度押すと、BeoLab 3500 がオフに切替わります (赤色のスタンバイインディケータがディスプレイに表示されます)。このキーを 2 秒間押し続けると、BeoLab 3500 とメインシステムが同時にオフに切替わります。

タイマー再生の操作

メインルームのシステムにセットした自動再生機能(タイマー再生)は、BeoLab 3500 でも起動できます。タイマー再生機能のオンオフは、操作パネルで切替えることができます。

- > **TIMER** キーを押すと、BeoLab 3500 に現在セットされているタイマー設定がディスプレイに表示されます。
- > 現在の設定を表示しながら、**TIMER** キーを押すと、**TIMER** (タイマー再生する) と **NO TIMER** (タイマー再生しない) を切替えることができます。

タイマー再生のリモコン操作

BeoLab 3500 がスタンバイモードのとき、BeoLab 3500 のタイマー再生のオンオフ切替えを Beo4 でリモコン操作できます。

- > **LIST** を繰り返し押しすと、ディスプレイに **SHIFT** が表示されます。
- > **0** を押しと、**TIMER ON** (タイマーオン) と **NO TIMER** (タイマーオフ) が切替わります。

SHIFT は、Beo4 の機能リストに追加していないと表示されません。詳細については、Beo4 ユーザーガイドの「Beo4 のカスタマイズ」の章を参照してください。

BeoLab 3500 のディスプレイ表示

TIMER ON

この表示は、BeoLab 3500 のタイマー再生がオンになっていることを示します。

NO TIMER

この表示は、BeoLab 3500 のタイマー再生がオフになっていることを示します。メインシステムにセットしたタイマー再生は、リンクスピーカーでは無効となります。

Beo4 リモコンの使用

Beo4 リモコンは、メインシステムのオーディオ/ビデオシステムの音源を別の部屋からオンに切替えて聴いたり、メインシステムのサウンド機能を設定できます。

Beo4 リモコンは、BeoLab 3500 のみに目覚ましタイマーをセットしたり、リンクスピーカーのサウンド機能を設定することができます。

本書に記載されている機能は、Bang & Olufsen メインシステムの音源が各機能に対応している場合のみ BeoLab 3500 でご利用いただけます。

オーディオ音源をオンにする ...

- > RADIO を押しと、ラジオを聴くことができます。
- > CD を押しと、CD を聴くことができます。
- > A MEM (A TAPE) を押しと、オーディオ録音を聴くことができます。

ビジュアル音源をオンにする ...

- > TV を押しと、テレビ音声を聴くことができます。
- > DTV (SAT) を押しと、デジタルテレビ音声を聴くことができます。
- > V MEM (V TAPE) を押しと、ビデオ録画音声を聴くことができます。
- > DVD を押しと、DVD 音声を聴くことができます。

その他の音源をオンにする ...

- > LIST を押しと、その他の音源 (N.MUSIC - パソコンに保存されたミュージックファイルなど) が表示されます。続いて GO を押しと、その音源がオンに切替わります。



Beo4 リモコンは、Bang & Olufsen 取扱店でご購入いただけます。

音源機能の操作例 ...

- 数字ボタンを押して、聴きたいプログラム、トラック、ディスクの番号を指定できます。
- ▲または▼を押すと、プログラム、録音、トラックが順番に表示されます。
- ◀または▶を押すと、1枚または複数のCD(連奏プレイヤーの場合)の曲をサーチします。
- 黄色のボタンを押すと、1枚または複数のCD(連奏プレイヤーの場合)の曲を前から後ろにサーチします。
- 緑色のボタンを押すと、1枚または複数のCD(連奏プレイヤーの場合)の曲を後ろから前にサーチします。
- STOPを押すと、音声が一時停止します。もう一度押すと、音声が完全に停止します。
- GOを押すと、音声が再開されます。
- ●を押すと、リンクスピーカーがオフに切替わります。押し続けると、Bang & Olufsen システムもオフに切替わります。

音源機能の詳細については、メインシステムに付属のユーザーガイドを参照してください。

Beo4 リモコンのその他の操作機能 ...

Mute ... BeoLab 3500 がスタンバイモードのときに、音量ボタンの真ん中を押すと、BeoLab 3500 操作パネルの MUTE ● と同じように機能します (13 ページ参照)。

Playback ... メインシステムのビデオまたは DVD を再生するには、LIST を押して DVD2* (V.TAPE2) が表示されてから、GO を押し

BeoLab 3500 とメインシステムを同じ部屋で使用する場合 ...

BeoLab 3500 をメインシステムと同じ部屋で使用する場合、RADIO、CD、TV などの音源ボタンを押すと、メインシステムのスピーカーからサウンドが再生されます。

BeoLab 3500 からサウンドを再生する場合は、LIST を押して LINK* を表示してから、RADIO、CD、TV などの音源ボタンを押します。

BeoLab 3500 のオプションは 4 に設定します。詳細については、「スピーカーの使用 ...」(22) を参照してください。

*ご注意! これらの機能は、Beo4 の機能リストに追加していないと表示されません。詳細については、Beo4 ユーザーガイドの「Beo4 のカスタマイズ」の章を参照してください。

Beo4 リモコンを使って、BeoLab 3500 のサウンド機能を設定できます。

BeoLab 3500 をオフに切り替えると、サウンド機能設定は、それらを保存していない限り、すべて初期設定にリセットされます。

音量レベルを含む、現在のすべてのサウンド機能はすべて一斉に保存されます。

BeoLab 3500 のサウンド機能は、メインオーディオ/ビデオとは別に調節できます。

音量を調節またはミュートする ...

> へまたは へを押して、音量を調節します。

> へ へ ボタンの真ん中を押すと、音声はミュートされます。へまたは へを押すと、音声が開かれます。

スピーカーバランスを調節する ...

> LIST を繰り返し押すと、ディスプレイに SPEAKER* が表示されます。

> ◀または ▶を押して、左右のバランスを調節します。

低高音、ラウドネスを調節する ...

> LIST を繰り返し押すと、ディスプレイに A.SETUP* (またはビデオ音源の V.SETUP*) が表示されます。

> GO を押すと、設定を変更できます。

> LIST を繰り返し押すと、ディスプレイに BASS、TREBLE または LOUDNESS が表示されます。

> ▲または ▼を押して、設定を変更します。

> GO を押して、設定を選びます。

サウンド設定を保存する - 起動サウンドレベルを再設定する ...

> LIST を繰り返し押すと、ディスプレイに S.STORE* が表示されます。

> GO を押して、設定を保存します。

*ご注意! これらの機能は、Beo4 の機能リストに追加していないと表示されません。詳細については、Beo4 ユーザーガイドの「Beo4 のカスタマイズ」の章を参照してください。

ディスプレイ表示

VOL 36

現在の音量レベル。音量は、00 から 72 の範囲で調節できます。1 度に 2 レベル増減します。

BALANCE

現在のバランス設定 - ここではニュートラル。バランスは、両側に対して 7 段階で調節できます。

BASS 0

現在の低音設定 - ここではニュートラル。低音は、-7 から +7 の範囲で調節できます。

TREBLE 0

現在の高音設定 - ここではニュートラル。高音は、-7 から +7 の範囲で調節できます。

LOUDNESS

現在のラウドネス設定を表示 - 点灯している場合はオン、'LOUDNESS' と 'OFF' が点滅している場合はオフ。

目覚ましタイマー

目覚ましタイマーは、1 度きりのタイマーです。タイマーが実行されると、設定は取り消されます。目覚ましタイマーの設定は、後で取り消すことができます。

目覚ましタイマーの時間と音源 (例えば CD) を選択します。音源を選択しないと、目覚ましタイマーは前回のラジオ局で起動します。

BeoLab 3500 で毎日同じ時間に目覚まし再生したい場合は、例えばメインオーディオやビデオシステムでタイマー再生をセットします。詳細については、メインシステムに付属のユーザーガイドおよび本書の 7 ページを参照してください。

目覚ましタイマーをセットする ...

- > Beo4 リモコンの MENU を押します。
- > 目覚ましタイマーに使用する音源ボタン (RADIO、CD など) を押します。音源として CD を選択した場合、CD をオーディオシステムに入れ忘れないようにしてください。
- > 必要に応じて、数字ボタンでプログラム番号を入力して、GO を押します。
- > 数字ボタンを使って、タイマー起動時間を入力します。
- > 設定を変更する場合、EXIT を押して目覚ましタイマーをキャンセルします。タイマー設定を確定する ...
- > ... GO を押して、目覚ましタイマーを保存します。

目覚ましタイマーの時間をセットするとき、BeoLab 3500 の目覚ましタイマーに前回設定した時間がディスプレイに表示されます。

目覚ましタイマーを取り消す ...

- > MENU を押すと、目覚ましタイマーが表示されます。
- > STOP を押すと、タイマーが取り消されます。
- > GO を押すと、取り消しが確定されます。

ディスプレイ表示

ON--:--

目覚ましタイマーの時間を BeoLab 3500 に設定できます。

STORED

目覚ましタイマーの設定が保存されました。

DELETED

目覚ましタイマーの設定が取り消されました。

ILLEGAL

時間が正しく設定されていません。もう一度入力してください。

目覚ましタイマーとタイマー再生

BeoLab 3500 の目覚ましタイマーをセットすると、メインルームのシステムにセットされているタイマー再生機能が無効となる場合があります。

例: タイマー再生を午前 7 時に設定し、目覚ましタイマーを午前 9 時に設定している場合、タイマー再生は無効となります。

目覚ましタイマーを午前 5 時に設定し、タイマー再生を午前 7 時に設定している場合、両方のタイマーが有効です。

ディスプレイ表示

BeoLab 3500 作ディスプレイの赤色表示は、室内の周囲光に合わせて自動的に調整され、光の加減がどのような場合でも見やすいようになっています。

再生中の音源データをディスプレイ表示するように設定できます。また、メインシステムにクロック機能が付いている場合、BeoLab 3500 に時刻を表示するよう設定できます。

ディスプレイ設定

NO CLOCK

ディスプレイに時刻が表示されません。スタンバイ時、赤色のスタンバイライトのみがディスプレイに表示されます。BeoLab 3500 使用中は、現在の音源がディスプレイに表示されます。メインシステムがクロック機能に対応していない場合、このモードを選択します。

CLOCK 1 •

スタンバイ時、時刻と赤色のスタンバイライトがディスプレイに表示されます。BeoLab 3500 使用中は、現在の音源がディスプレイに表示されます。

CLOCK 2 •

スタンバイ時、時刻と赤色のスタンバイライトがディスプレイに表示されます。BeoLab 3500 使用中も時間が表示されますが、BeoLab 3500 を操作パネルまたはリモコンで操作している最中は、その操作モードが表示されます。これは、工場出荷時の設定です。

ディスプレイ設定の選択 ...

- > TIMER キーを押しながら、MUTE • キーを押します。現在の設定が表示されます。
- > MUTE • キーをもう一度押すと、表示が変更されます。
- > MUTE • キーを押しながら、表示したいモードを選択します。
- > 両方のキーを放します。

Wireless 1 で CLOCK 1 または CLOCK 2 を選択している場合、時刻はメインシステムで設定します。これにより、クロック表示が強制更新されます。

その他のディスプレイ表示

A.MEM 1

オーディオレコーダーのトラック番号 1 を再生中。

A.MEM <>

左右両向き矢印 (<>) 音源が停止されているときに表示されます。V.MEM および CD でも同じように停止が表示されます。

A.MEM <<

左向き 2 重矢印 (<<) 録音が巻き戻されているときに表示されます。V.MEM および CD でも同じように停止が表示されます。

A.MEM >>

右向き 2 重矢印 (>>) 録音が早送りされているときに表示されます。V.MEM および CD でも同じように停止が表示されます。

CD 12

CD のトラック 12 を再生中。

CD3 4

連奏 CD のディスク 3 トラック 4 を再生中。

DTV 12

デジタルテレビ 12 を再生中。

DVD 1

DVD のチャプター 1 を再生中。

DVD2 1

DVD2 のチャプター 1 を再生中。

LOAD

CD、DVD、オーディオプレイやビデオレコーダーに何も挿入されていないときに音源ボタンを押すと、ディスプレイに LOAD が 3 回点滅表示されます。

N.MUSIC

BeoLink PC2/BeoPort の N.MUSIC (パソコンに保存されたミュージックファイル) を再生中。

N.RADIO

BeoLink PC2/BeoPort の N.RADIO (インターネットラジオ番組) を再生中。

RADIO 3

ラジオプログラム 3 を再生中。

RECORD

ディスプレイの RECORD が 3 回点滅する場合は、メインシステムで音源を録音中です。録音中は、その音源に自動的に切替わり、リンクスピーカーで録音中の音源を聴くことができます。

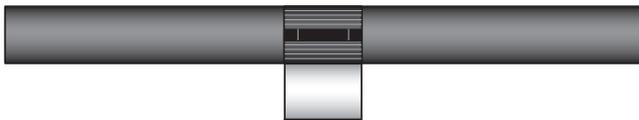
TV 3

テレビプログラム 3 を再生中。

V.MEM 1

ビデオレコーダーの録画 1 を再生中。

以降のページでは、ケーブル接続 Master Link システムまたはワイヤレス Master Link システムを BeoLab 3500 に使用する方法を説明します。



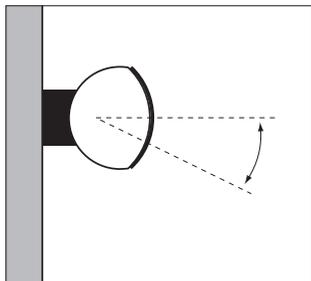
以下の手順に従ってください:

- システムの電源プラグをコンセントから外します。
- Master Link ケーブルをメインシステムからリンクルームに配線します (または、BeoLink Wireless 1 を Wireless 1 に付属のユーザーガイドの説明に従ってセットアップします)。
- 「ケーブル接続」(20-21ページ参照)の説明に従って、BeoLab 3500 を接続します。
- システムの電源プラグをコンセントに差し込み、BeoLab 3500 のオプションを設定します。この設定については、「スピーカーの使用 ...」(22)の説明を参照してください。

BeoLab 3500 は、壁に水平に取り付けるか、オプションのテーブルスタンドに取り付けてください。BeoLab 3500 を壁やテーブルスタンドに取り付ける前に、ケーブル類を接続してください。

注意

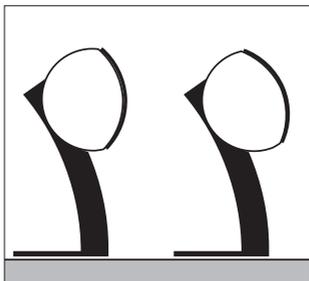
- BeoLab 3500 の設置および接続は、必ず本書の説明に従ってください。損傷を避けるため、製品には Bang & Olufsen の専用スタンドまたはブラケットをご使用ください。
- BeoLab 3500 の電源を完全に切るには、電源プラグを電源コンセントから外します。
- BeoLab 3500 は分解しないでください。スピーカー内の点検や修理は、サービス技術者にお任せください!
- BeoLab 3500 は、必ず湿気を避けた室内環境で、室温 10-40 °C (50-105 °F) の範囲内で使用してください。
- BeoLab 3500 は、直射日光や直接照明 (スポットライトなど) が当たる場所や、電気ノイズの発生源 (照明調節スイッチなど) の近くには設置しないでください。リモコン信号の受信感度が低下します。
- 最適な音質で聴くには、小さな本棚の中など、密閉された場所に BeoLab 3500 を置かないでください。BeoLab 3500 の両側には 20 cm の隙間をあげ、手前に物を置かないでください。



ウォールブラケット: BeoLab 3500 壁掛け用ウォールブラケットは、製品に付属しています。BeoLab 3500 は、操作パネルを使いやすい、またディスプレイ表示を見やすい、適当な高さに設置してください。

BeoLab 3500 は、どのような高さに取り付けても、リスニングポジションにサウンドが伝わるように、スピーカーの角度を調節できるようになっています (例えば、BeoLab 3500 を壁の高い位置に取り付けた場合、スピーカーの角度を下向きにします)。

BeoLab 3500 を壁に掛ける方法については、18–19 ページの説明を参照してください。



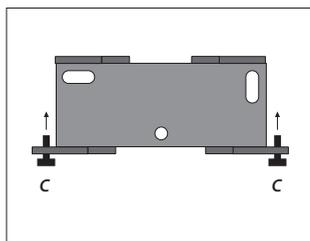
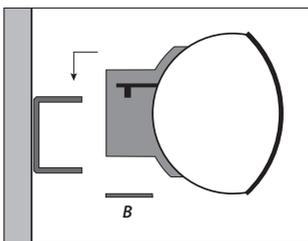
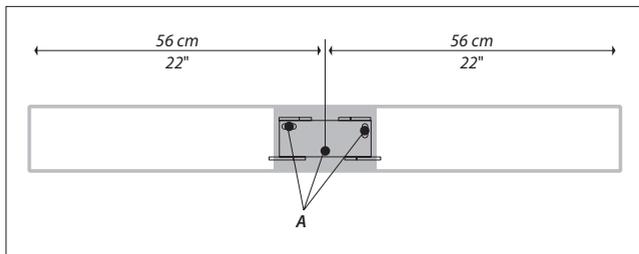
テーブルスタンド: BeoLab 3500 は、ウォールブラケットのほかに、オプションのスタンドを使って色々な置き方を選べます。

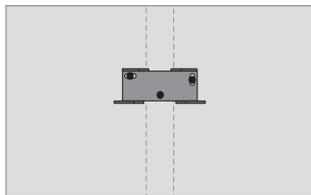
スタンドは、2 段階で高さ調節が可能です。低い方の高さにセットすると、BeoLab 3500 のスピーカーが上向きになります。

BeoLab 3500 のテーブルスタンドの使用方法については、19 ページの説明を参照してください。

BeoLab 3500 を壁に取り付けるには:

- ブラケットを壁にあてて、印を付け、穴を開けます。
- ブラケットを壁に固定します。適正なサイズ、タイプのネジおよびウォールアンカーを使用してください。また、取り付ける壁の状態も点検してください。定格荷重 13 kg 以上の 3 本のネジとウォールアンカーを使用してください。ネジを締め付ける前に、ブラケットを水平に調節してください (A)。
- 灰色のプラスチックカバー (B) をウォールマウントから外し、ケーブル類を接続します。
- 2 個のプラスチックベグをウォールブラケットの上端の穴に差し込んで、BeoLab 3500 をブラケットに掛けます。
- BeoLab 3500 を 2 本のネジ (C) でブラケットに取り付け、灰色のプラスチックカバーを取り付けます (B)。

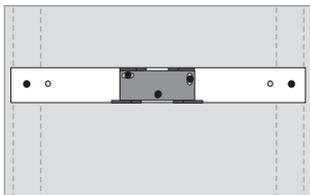




ブラケットを仕切り壁に取り付けるには:

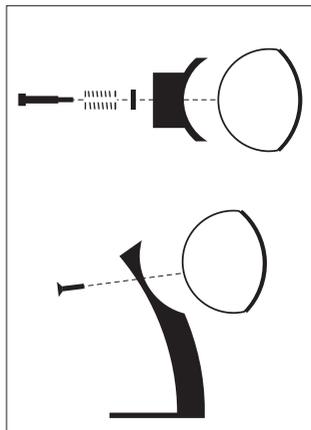
仕切り壁には、大抵の場合、石膏パネル（乾式壁またはウォールボードなど）が使われ、垂直ボルト留めで固定されています。石膏材は、BeoLab 3500 の重量に耐えません。

BeoLab 3500 を石膏壁に取り付ける場合、標準ウォールブラケットと丸頭ラグネジ（ $\phi 4.5$ mm）を使用し、石膏を貫通させて垂直ボルト留めに 25 mm 以上ねじ込みます。その他に、石膏壁専用の補足ネジを 2 本使ってください。



BeoLab 3500 をボルト留めの間に固定するには、適切なタイプのネジを、両端の垂直ボルト留めに補足ウォールプレートを取り付けます。その上、標準ウォールブラケットを、付属のネジ 3 本を使って、プレートに取り付けます。

補足ウォールプレートは、特に米国での使用に適した寸法となっています。



BeoLab 3500 をテーブルスタンドに取り付けるには:

BeoLab 3500 の裏面にあるバネ付きネジを緩め、灰色のプラスチックウォールマウントを外します。

BeoLab 3500 を、スタンドに付属の 2 本の小ネジを使って、スタンドに取り付けます。

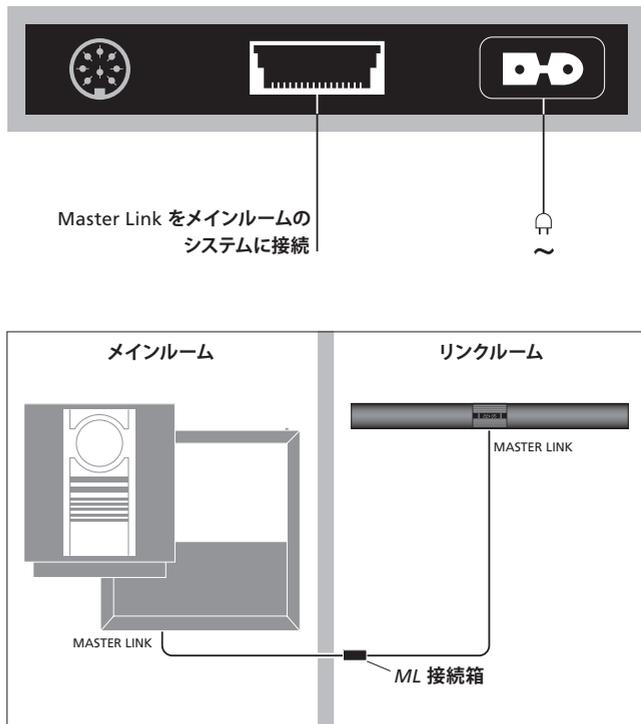
... ケーブル接続 Master Link システム

Master Link ケーブルを使って BeoLab 3500 をメインルームに接続する場合、このページの説明に従ってください。

リンクルーム: Master Link ケーブル (平らのマルチピンプラグ) を、BeoLab 3500 の Master Link ソケットに接続し、ML 接続箱に配線します。

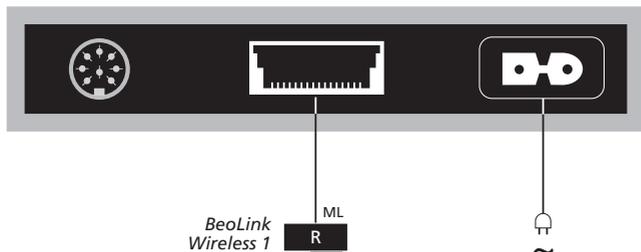
メインルーム: Master Link ケーブル (平らのマルチピンプラグ) をメインシステムの Master Link ソケットに接続し、ML 接続箱に配線します。

接続箱内のケーブル接続は、接続箱に付属のガイドの説明に従ってください。このガイドには、接続箱の使い方やケーブルの接続方法について、詳細が記載されています。



最後に、BeoLab 3500 を電源コンセントに接続し、メインシステムの電源を入れます。

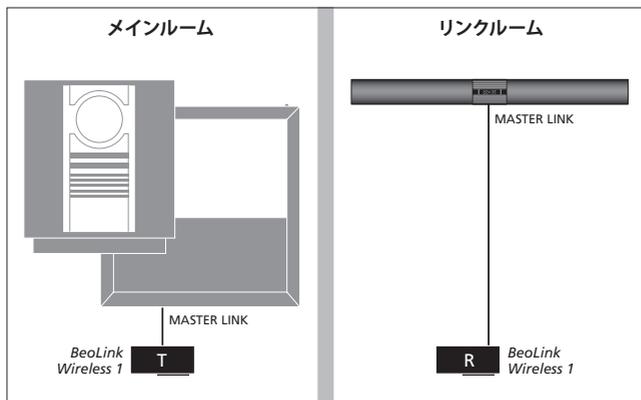
その他のアクセサリ、ケーブル、ケーブルカバーなどの詳細については、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。



... ワイヤレスの Master Link システムで使う場合

BeoLink Wireless 1 システムを使用して、メインルームと BeoLab 3500 を接続する場合は、このページの手順に従ってください。

メインルーム側: 送信機として設定した Wireless 1 ユニットの、メインシステムの Master Link 端子に接続します。



リンクルーム側: 受信器として設定した Wireless 1 ユニットの、BeoLab 3500 の Master Link 端子に接続したあと、Wireless 1 を電源に接続します。

BeoLink Wireless 1 ユニットの接続については、Wireless1 に付属するガイドをご覧ください。



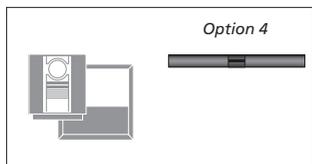
ディスプレイの詳細については、「ディスプレイ表示」(14-15 ページ)を参照してください。

BeoLab 3500 のセットアップを完了してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。メインシステムの電源を入れます。

初めて電源を入れた際は、ディスプレイに赤色のスタンバイインジケータが点灯します。しばらくすると、ディスプレイに時刻が表示されます。メインシステムにクロックオプションが付いていない場合、時刻は「:」表示されます。

Beo4 リモコンを使用する場合、このオプションを設定します。システム全体をスタンバイ状態に切り替える必要があります。

- > ● ボタンを押し下げながら、LIST を押します。
- > 両方のボタンを離します。
- > Beo4 のディスプレイに OPTION? と表示されるまで、LIST を繰り返し押しします。OPTION? と表示されれば、GO を押します。
- > Beo4 のディスプレイに L.OPT と表示されるまで、LIST を繰り返し押しします。表示されれば、番号 (0、4、5、6 のいずれか) を入力します。



オプション設定

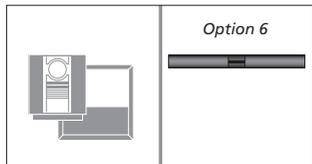
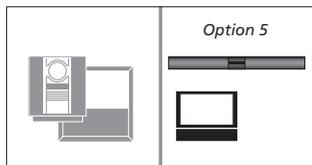
BeoLab 3500 では、以下のオプションを設定できます。

Option 0: リモコン操作を無効にする場合に設定します。

Option 4: BeoLab 3500 をメインシステムと同じ部屋で使用する場合に設定します (例えば、L 字型の部屋で、2 カ所をリスニングスポットとする場合)。

Option 5: Bang & Olufsen テレビを、BeoLab 3500 と同じ部屋で使用する場合に設定します。

Option 6: メインシステムを置く部屋と、BeoLab 3500 を使用する部屋が別の場合に設定します (製品出荷時の初期設定)。



BeoLab 3500 のお手入れには、アルコールやその他の溶剤は絶対に使用しないでください。



金属面は、柔らかい布で乾拭きしてください。油汚れや汚れが取れない場合は、台所用の中性洗剤などを数滴入れたぬるま湯に、柔らかい布を浸して、しっかり絞ってから拭き取ってください。

フロントの布地のほこりや塵は、掃除機に柔らかいブラシノズルを付けて、吸引力を最低にして吸い取ってください。

BeoLab 3500 の中心部分 (ディスプレイとボタン) には、特殊な自己回復保護光沢が施されています。このため、小さな傷は自然に消えます。この部分のお手入れには、必ず乾いた布をお使いください。

CE 本製品は、EEU の 89/336/EEC および 73/23/EEC に記載されている基準を満たしていません。

技術仕様、機能、使用方法は、事前の予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

アメリカ向け特記事項

注意： 本製品は、連邦通信委員会規定第 15 項に従って検査され、クラス B デジタル装置の制限に適合することが証明されています。この制限は、一般家庭で使う場合に起こり得る有害な干渉に対し、適正な防護措置を講じるためものです。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえで、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信用アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

カナダ向け特記事項

このクラス B デジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。

